

活動紹介

Activity

「特別講演会及び IT 融合研究会成果発表会」

平成 28 年 3 月 1 日

平成 28 年 3 月 1 日（火）にサテライトキャンパスひろしまにおいて、「特別講演会並びに IT 融合研究会成果発表会」を開催しました。

特別講演会では、2 名の講師の方をお招きし、クラウドやモバイル、ビッグデータに続いて注目が集まる「スマートマシン」に関するお話をさせていただきました。

まず、国際大学 GLOCOM 客員研究員（NTT コミュニケーションズ(株)勤務）林雅之氏から、「スマートマシンがもたらす地域産業の未来創造～AI、ロボット等の活用の可能性～」と題してご講演いただきました。林氏から、スマートマシンがもたらす地域産業の未来創造の可能性について、2045 年までのロードマップを基に中長期な視点も交えて解説していただきました。



次に、(株)日本人材機構 シニアディレクター／事業構想大学院大学 客員教授 渡邊信彦氏から、「IoT が創る未来の街～センサーと AI がつくる覚えて考える街～」と題してご講演いただきました。渡邊氏から、センサーで集めたデータをクラウドに蓄積するだけでなく、目的に応じた解析と予測をすることでユーザーの利用価値を向上させる必要性について、先端的な事例を取り上げながらの興味深いお話でした。

IT 融合研究会成果発表会では、平成 27 年度に採択された 5 つの研究会から研究の内容や取組状況、成果や課題等についての発表がありました。

研究テーマと代表企業

1. 恒温室内における分析装置及び室内環境状態のリアルタイム監視
代表企業：(株)ハイエレクトロニクス
2. 消費者へ安全・安心な農作物をお届けするためのひろしまブランドの確立
代表企業：富士通(株)
3. 養蜂業の効率化・自動化を目指すための IoT AI 活用についての研究
代表企業：はつはな果蜂園
4. 外国人サイクリストを対象にした情報ライフサイクルプラットフォームの研究
代表企業：NECソリューションイノベータ(株)
5. 言葉の壁をなくすグローバルコミュニケーションの実現と新たなビジネスの創造
代表企業：(株)RCCフロンティア



国際大学 GLOCOM 客員研究員（NTT コミュニケーションズ(株)勤務）
林 雅之 氏



(株)日本人材機構 シニアディレクター／事業構想大学院大学 客員教授
渡邊 信彦 氏

特別講演会

平成 27 年 10 月 22 日

平成 27 年 10 月 22 日 (木) に広島市南区民文化センターにおいて、「特別講演会」を行いました。

2 名の講師をお招きし、通称インダストリー 4.0 と呼ばれるドイツ第 4 次産業革命に関する講演と、日本の農業を魅力あるものにする ICT 利活用についての講演をしていただきました。

(株)野村総合研究所 産業 IT イノベーション事業本部主席研究員 藤野直明氏からは、「ドイツ 第 4 次産業革命 (Industrie4.0) とわが国製造業のグローバル戦略」と題して、日本では、グローバル化、社内に限定した標準化、デジタル化の順でドイツの優先順位と違いがあり、世界で日本を除いた「標準」が出来つつある中で、日本が考えるべきはドイツのような 5～10 年後の経営戦略であるとのお話がありました。



次に、日本農業情報システム協会 理事長 渡辺智之氏から、「農業 IT 革命」と題して、病気や害虫の発生状況が一目でわかるツール、コスト計算により、工数、資材投入を減らすことが可能となるツール、クオリティ・ブランド維持のための意思決定支援ツールなど、魅力ある農業に向けて様々なツールが開発されている状況について紹介がありました。



(株)野村総合研究所産業
IT イノベーション
事業本部 主席研究員
藤野直明 氏

ひろしまアプリアイデアコンテスト

平成 27 年 10 月 22 日

ひろしまアプリアイデアコンテストを平成 27 年 10 月 22 日 (木) に広島県立産業会館で行いました。

このコンテストは、ひろしま IT 総合展 2015 と同時開催イベントとして会場内の特設ステージで行なったもので、行政機関等が保有する交通、防災、統計情報などのオープンデータの具体的な活用に向け、広島にちなんだスマートフォンやタブレット型端末向けのアプリケーションについて、個人やグループ・企業等から活用アイデアを広く募集しました。

書面審査 (1 次審査) を経たプレゼンテーション (2 次審査) は、全国から応募のあった 9 名の方に発表いただきました。発表者の熱のこもったプレゼンには、ステージ前の観客から大きな声援が上がっていました。

審査の結果、2 部門「課題部門 (ウォーキング)」、「自由部門」で入選したアプリのタイトルと受賞者は次の通りです。

【課題部門】

- 最優秀賞 -

・アストラムウォーク～貯めよう広島健康ポイント～ 大場 健太郎様（広島市）

- 優秀賞 -

・マイウォーキングトレーナー 岩田 治幸様（千葉県船橋市）

- 入選 -

・健康管理アプリWorld Walk 青木 美帆様（広島市）
・ペットとダイエット☆ 安藤 晋様（大阪府大阪市）

【自由部門】

- 最優秀賞 -

・地域イベント情報共有スマホアプリ「ためまっぷ」 清水 義弘様（広島市）

- 優秀賞 -

・アクセシブル・ひろしま 長岡 牧子様（大阪府豊中市）
・ひろしま降雨状況分析マップ 酒井 達弘様（広島市）

- 入選 -

・お好み焼きクエスト 兼利 英昭様（広島市）
・避難所を探せ！～災害時に冷静かつ的確な行動を促す～小山 昭則様（熊本県合志市）

「特別講演会及び IT 融合研究会成果発表会」の開催

平成 27 年 3 月 2 日

平成 27 年 3 月 2 日（月）に、リーガロイヤルホテル広島において、「特別講演会及び IT 融合研究会成果発表会」を開催しました。

特別講演会では、2 名の講師の方をお招きし、近年注目を集めるようになったビッグデータに関するお話しをしていただきました。

まず、日本マネジメント総合研究所 LLC. の戸村智憲氏から、『ビッグデータで切り拓く新たな IT 戦略と活性化』と題してご講演いただきました。戸村氏からは、ビッグデータの概要の説明、効果的な活用例・残念な活用例の紹介、ビッグデータを何のためにどのように使っていけばよいかとの提言がなされました。

次に、がんこフードサービス㈱の新村猛氏から、『外食産業におけるビッグデータの活用事例』と題してご講演いただきました。新村氏からは、自身の勤務先において、顧客へのサービスのために行ってきたデータ収集とその分析、その結果試みてきた ICT 取組とその成果についての具体的な紹介がありました。



IT 融合研究会成果発表会では、平成 25・26 年度に採択された研究会のうち、下記 4 つの研究会から研究の内容や取組状況、成果や課題等についての発表がありました。その後、今回の講演者でもある戸村氏が、それぞれの発表に対して、専門家の立場からアドバイスをを行いました。戸村氏は、ビジネス化や販路開拓に難しさを感じている企業に対し、ビッグデータの利活用ですべてが解決するわけではないこと、経営戦略の構築・仮説立てを始点とする企業のミッション・存在意義が重要であることなどをコメントしました。



日本マネジメント総合研究所 LLC 理事長 シニア・ビッグデータストラテジスト
戸村 智憲 氏



がんこフードサービス㈱取締役副社長 / 独立行政法人産業技術研究所 サービス工学研究センター研究顧問
新村 猛 氏

発表を行った研究会と代表企業

1. タブレット端末を活用した理数科目の構造的学習システムの開発研究
代表企業：(株)ラーニングエンジニアリング
2. 医療・製造業・観光分野へ適用できる IT/ICT 基盤の構築及びビジネスモデルに関する研究
代表企業：シャープ(株)
3. 専門職コメント付き介護・福祉用具ポータルサイトに関する研究
代表企業：(株)システムフレンド
4. 「外見診断システム」を活用した Web ファッションコンシェルジュ機能の研究
代表企業：(株)パルブライト



最後に、平成 24 年度に広島市からの委託で、公益社団法人 中国地方総合研究センターが行った「産業支援サービス業（医療・福祉関連分野）活用調査」について、同センターから報告があり、参加者に対し、そのニーズ・シーズを基にした IT 融合研究会の組成を呼びかけました。

このイベントには、ビッグデータの利活用に関心のある企業担当者、研究者、自治体職員など約 100 名の参加がありました。

今後もビッグデータ利活用に関する普及・啓発、研究会組成に向けた取組を行ってまいります。

「ITX 農業セミナー」の開催

平成 27 年 1 月 15 日

平成 27 年 1 月 15 日（木）に、広島国際会議場において、「ITX 農業セミナー」を開催しました。

このセミナーでは、2 名の講師の方をお招きしました。

まず、NEC ソリューションイノベータ(株)の島津秀雄氏から、『農業分野における ICT 活用の可能性』と題してご講演いただきました。島津氏からは、高齢化が進む日本において喫緊の課題となっている大幅な農家の離農に伴う農業知識や技術・ノウハウの継承を背景に、研究者や専門家等と進めてきた農業の生産性向上のための ICT 活用による研究開発・実証実験の取組の紹介や今後の問題点の提言がなされました。



次に、慶應義塾大学の神成淳司氏から、『地域に適合した ITX 農業の可能性』と題してご講演いただきました。神成氏からは、従来からの効率化や大規模支援のみならず



す、小規模農家や流通現場等でも効果が期待される最新の農業分野における IT 利活用の現状についての紹介があり、小規模農家が多く存在する広島でもビジネス展開できる IT を利活用した取組の提言がありました。



NEC ソリューション
イノベーション 執行役
員 兼 システムテクノ
ロジラボラトリ所長
島津 秀雄 氏



慶應義塾大学 環境情
報学部 准教授 / 医学
部 准教授 (兼任) /
内閣官房 副政府
CIO / 情報通信技術
(IT) 総合戦略室長
代理
神成 淳司 氏

セミナーには、現役農家や農業に関わる IT 企業担当者、大学研究者、自治体職員を中心に約 120 名の参加がありました。また、セミナー後に参加者から回答いただいたアンケートには、農業と ICT をテーマとしたセミナーを今後も開催して欲しいとの声が少なからずあり、農業分野への ICT 利活用の可能性に対して高い関心があることがうかがえました。

今後も「ITX 農業」に係るビジネス化に向けた取組を行ってまいります。

「広島ビジネスアイデアソン」の開催

平成 26 年 11 月 21 日

平成 26 年 11 月 21 日 (金) に、サテライトキャンパスひろしまにおいて、「広島ビジネスアイデアソン(※ 1)」を開催しました。

このイベントは、行政機関等が保有する交通、防災、統計情報などのオープンデータ(※ 2)を活用して、地域の課題を、地域の目線で議論し、Web アプリケーションの開発を始めとするビジネスにつながるアイデアを掘り起こすためのものです。

※ 1 アイデアソン …「アイデア」と「マラソン」を組み合わせた造語で、設定されたテーマに基づきアイデアを生み出すイベントのこと。

※ 2 オープンデータ …行政機関等が保有する公共データを機械判読に適したデータ形式で、誰もが二次利用を可能とするルールによって公開されたデータのこと。



公募によりお集まりいただいた大学の先生等専門家、学生、企業の担当者、自治体職員、一般市民の方約 50 名が、5 つのグループに分かれ、以下のテーマについて活発な議論を行い、イベントの最後には討論の結果を発表し合いました。

本イベントで出されたアイデアは、これまで各地で開催されてきたアイデアソンの成果を集積するサイト「ナレッジバンク (URL)」に掲載され、今後のより具体的なビジネス化に向けて活用する予定です。

討議されたテーマ

1. 地域コミュニティが活性化する街に（地域振興）
2. バスを利用しやすい便利な街に（交通）
3. いざという時のための防災情報／お助け情報（防災）
4. 道路や橋の効率的な管理の実現（社会インフラ）
5. 広島にもっと人を呼ぼう（観光）

オープンデータ セミナー

平成 26 年 2 月 17 日



平成 26 年 2 月 17 日にサテライトキャンパスひろしまにおいて「ひろしま IT 融合フォーラム オープンデータ セミナー」を開催しました。

行政機関だけでなく、民間の企業や個人の手で活用されることによって、行政改革や地域経済の活性化につながることが期待されている「オープンデータ（※）」とは何か」についてセミナーを開催しました。

※オープンデータ…国や自治体などが保有する地理空間情報、防災・減災情報、統計情報などの公共データを、再利用しやすい形で公開されたデータ。



2 人の講師をお招きし、「オープンデータ活用の現状と期待」と題して、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）電子情報利活用研究部長坂下哲也氏から、日本の進めるオープンデータ戦略やユースケースの紹介などを講演いただきました。

また、「千葉市総務局次長（CIO 補佐監）三木浩平氏からは、「千葉市が取り組むビッグデータ／オープンデータ施策群」と題して、データ活用し、行政が市民に、市民がコミュニティに貢献することにより、安心で快適な街づくりを実践している「ちばレポ」などを紹介いただきました。

設立記念講演会

平成 25 年 7 月 9 日

ひろしま IT 融合フォーラムの設立を記念し、平成 25 年 7 月 9 日メルパルク広島において、186 名の参加により設立記念講演会を開催しました。

来賓には総務省中国総合通信局情報通信部山下朝文部長、経済産業省中国経済産業局地域経済部尾本哲朗部長をお招きし、基調講演は、「IT 融合で拓く未来」と題して、(株)日経 BP 執行役員技術情報グループ統括補佐（兼）イノベーション ICT 研究所長桔梗原富夫氏に御講演いただきました。





クラウド、ビッグデータ、スマホ・タブレット、ソーシャルといった第3のプラットフォームが台頭するなか、ICTの新たな役割が、商品やビジネスの価値向上、より良い社会づくりに拡大しており、新たなビジネスチャンスが生まれている。政府の成長戦略でも科学技術・ITは5年以内に技術力の世界ランキングで1位を目指すことなどが紹介されました。

その後、農業、医療、ものづくり、公共データの各分野における、最新のIT活用事例について御講演いただきました。

ました。

- 農業

「アクトいちごファームのICT活用とその効果について」
(株)アクトいちごファーム代表取締役 小野聖一朗氏

- 医療

「モバイルコンピューティングが切り拓く医療のミライ」
(株)アイキューブドシステムズ取締役社長室長 畑中洋亮氏

- ものづくり

「IT活用から生まれるいのちを救うプロジェクト」
(株)クロスエフェクト代表取締役、京都試作ネット代表理事 竹田正俊様氏

- 公共データ

「データシティ鯖江の現状とこれから」
鯖江市政策経営部情報統括監 牧田泰一氏

基調講演



(株)日経BP執行役員技術情報グループ統括補佐(兼)イノベーションICT研究所長
桔梗原 富夫 氏



(株)アイキューブドシステムズ取締役社長室長
畑中 洋亮 氏



(株)クロスエフェクト代表取締役 京都試作ネット 代表理事
竹田 正俊 氏

特別講演・先進的取組みのご紹介



(株)アクトいちごファーム代表取締役
小野 聖一朗 氏



鯖江市政策経営部情報統括監
牧田 泰一 氏
(めがね産地鯖江市～近未来の電腦メガネ装着～)